

インプラントについて

残念ながら何らかの理由でご自分の歯を失ってしまった方が多くいらっしゃると思います。現在、欠損した部分を治療するには、入れ歯、ブリッジ、インプラントという方法があります。今回はインプラントについてお話ししたいと思います。

インプラント治療とは、歯を喪失したところの骨に人工歯根を埋め込みその上に金属、セラミックなどをかぶせ、機能を回復させる処置です。他の治療との違いは次のとおりです。

入れ歯とインプラントを比較した場合、①入れ歯と違って針金を使用しないため審美的である。②大きさが小さいため発音などの違和感がない。③固定式のため毎回はずして洗ったりする必要がない。④咬む力、咀嚼効率が向上する。

ブリッジとインプラントを比較した場合、①欠損した歯の前後の歯を削る必要がない。②残っている歯への負担が減少する。以上の違いがあります。

まず、治療を行うか否かを様々な面から診査し診断をします。①全身の健康状態と生活習慣などを把握する。②X線写真による診査で骨の状態、形態を調べる。③口腔内診査をおこないお口の中の歯の状態や粘膜、歯肉の状態を調べる。④お口の型を採り咬み合わせなどを診査し最終的にかぶせる形の参考にする。

診査をして健康状態も良く骨の形態も問題なければ一般的なインプラント治療の適応と考えられます。歯科治療の進歩にともないインプラントの適応が増えましたが、すべてにおいて可能であるということではありません。従来の方法と比較検討してそれぞれのお口の状態に適した治療を選択してください。



1
まず、レントゲンなどによる十分な診断を行い、治療の計画についての説明をします。

2
歯の抜けたところへインプラントを植え込んだあと、あごの骨にしっかり固定されるまで、3～6ヶ月待ちます。

3
インプラントによるしっかりとした土台ができたら、人口の歯を上に取り付けます。